

昭和四十八年四月一日発行

琵琶詩吟名匠録

- 日本琵琶協会の事務所** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 薩摩正絃会** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 薩摩琵琶正絃会** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 辻靖剛** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 鶴田錦史** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 大館派琵琶洲会本部** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 家元大館洲楓** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 錦心流琵琶教授** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 本水会本部** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 松田静水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 日本国風流詩吟** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 宗家雨宮国風** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 小田田賞水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 一水会本部** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 錦心流琵琶** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 前田秋声** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 友吉鶴心** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 石坂鶴朋** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 内山鶴崇** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 針谷錦古** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 廣瀬綴水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 三浦蓮水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 古水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 針谷錦古** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 日本流大館派教授** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 前田洲月** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 桑名洲聖** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 大館派琵琶、詩吟** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 稲垣洲玲** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 松崎洲陵** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 彼ノ矢洲友** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 中村洲心** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 島田春水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 四方田錦隆** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 古家絃風** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 遠藤鶴東** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 須田誠舟** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 赤心流鶴翁** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 最上穂洲** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 浅野晴風** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 弘沢雨水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 北堀省水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 戸谷響水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 山田幻水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 加藤錦陽** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 奥村慧水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番
- 吉野洲水** 東京都港区西新橋一丁目 電話 一〇七電 〇三七八九番



琵琶特集 四月号

日本橋会名流精鋭が競った 琵琶極致の全国大会は成功

筑前琵琶日本橋会の一社宗家橋 旭宗師逝して七年、故師の遺業を 継ぐ全国橋会の幹部は、七回忌追 善の爲め三月三日打揃って東京多 摩霊園の墓前に詣り冥福を祈り、 四日前十時より有楽町の第一生 命保険会社大ホールに於て橋会全 国大会演奏会を開催された。この日 も会場はロビーに靈祭壇を設け、 故師の遺影を祀り生花や菓子を供 え、僧侶の奉経、参列員の焼香に 師恩を偲び、錦城会総本部と東京 本部其の他より大きな生供花が並 び、絃聖偉人を追憶させた。

琵琶演奏は正十時番外の客廳、 飯島の「加藤清正」の曲で開幕、 本番先陣大阪の島田千三さんが 「本能寺」の曲で練技向上振りを 示し拍手を浴び、二番手は彦根林 田師門下の新鋭組四人（佐林田） で熱演、三番手が上武、佐々木組 続いて坪内、大野、小川組、糸日 谷組、小島、野村、酒井組の合奏。 熊本の木田、神戸の安住両者の各 単奏、東京の佐藤、花方、川喜多

意義深い式典、名人芸や巧技 の展開に満場の聴衆絶賛頻り

を述べて満場緊張のうちに終る。 続いて第二部の演奏に入る前にこ の日の爲めに作詩された故宗家を 偲ぶ「追憶」が、宗師と師範格 の女流二十名の合奏で上演され 清楚な梅花と研を競う白衣装法衣 揃えて優美な大舞台上に郁やかな香 技を展開して大拍手を浴びた。

第二部の序番はこれも彦根の 林田師門一の精鋭組、堀川の二 人に林田師の絃で「舟弁慶」の熱 奏である。二陣は小川、中野、本 村と東京、福山、鹿児島各地人の 組合せであり、二番手が東京金子、 水戸の城戸と旭師門下の秀才二人 で、大会毎に花形中の逸才で通る 達者組。大阪寺尾、厚木三柄、東 京の原田、丸山、膳場組と特色あ る巧者の熱演が続く。名古屋の石 河の歌、松本師の絃「平野園」の 神楽川柳の「川中島」の熱演で 大衆を喜ばす。鳥取北村、神戸大 迫の各単奏、次に東京山田、広島 菊地両名手の演技が満場を沸き立 たせれば、山崎師の絃で松村、木 下両古参組が歌節を揮う。名人と 全国の定評の広島坂谷さん、曲を 「都落ち」に替えての熱演で、満 場を酔かしめれば、宗師の東京山 元旭師師範が「禪師と政宗」で、模 範曲を「柴木」に変更して入神 芸を發揮し共に全聴衆を恍惚と酔 わしめ大成功の裡に七時半ごろ終 った。

此の日は名曲録音東集家の宮崎 先生、新潟の愛蔵家江氏、鎌倉 の曾我、横須賀の山田会長、神戸 の柴田師、東大阪の辨本旭風会長 高千穂さん等名流入の参観あった

筑前琵琶の精華 紅会の演奏会

四月二十日正午 開演三越劇場で

東京琵琶の名物となった筑前琵琶 紅会の公演は、陽春に爛漫と咲 き誇る桜花の美と研を競う如く四 月二十日正午より日本橋三越劇場 に於て筑前琵琶の精華が開かれる。

紅会は斯界の女王と讃えられる 旭会系の大政所押田旭翁各人を主 柱に原旭潮、原田旭柳、原島旭 田中旭千栄、仲川旭柳、小笠原旭 星の七名流同人によって結成され て十数年。数年前に青山旭光、宮 武旭豊両若手名花が参加されて一 段の美観を増し、毎年一回開かれ る演奏会はいつも満員の大人気で



(押田旭翁師)

名物たるに適合している。 今回の公演は十二回目で、毎回 発表される押田師の新曲は、今年 は「文豪三島由紀夫の自決」を發 表される由である。

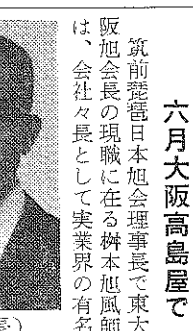
愛蔵家と馴染深い舞踊の巨匠中 村流家元の中村冠子師が押田師作 曲の吟詠舞を上演される外、吾妻 江風、若水桜松、水藤錦陽の三大

家が賛助として出演し妙技を競わ る。また最後は会員一同で「五絃 段」を上程し筑前琵琶の真価を發 揮される。

以上の名流顔合せ又々話題を呼 んで大人気を博得である。出演 者と曲は次の通り。

会歌くれない 会員一同▲衣川、 相田元子▲王昭君 原島旭柳門弟 ▲湖光渡 岸羽秀 ▲坂崎出羽守、 青山旭光▲項羽 田中旭千栄▲猿 曳 ▲宮武旭豊▲若き敢進 仲川旭 朋 ▲石田三成 ▲小笠原旭星▲清水 一角 ▲原旭潮▲環の浦 原島旭粧 ▲舟弁慶 原田旭柳▲新曲 文豪 三島由紀夫の自決 押田旭翁吟 詠舞 中村冠子▲高田の馬場 吾 妻江風▲新撰組 若水桜松▲時雨 雪我 水藤錦陽▲五絃段 合奏。

東大阪樹本会長が 女流大会を企画 六月大阪高島屋で



(樹本会長)

筑前琵琶日本橋会理事長で東大 阪旭会長の現職に在る樹本旭風師 は、会社社長として実業界の有名 紳士で徳望高いが、師は全国的に 著名な女流弾奏家を選んて名流琵琶 大会を六月下旬頃に大阪の高島 屋ホールにて開催したい意向で目 下企画を進めていると。

新作琵琶歌

曾我竜城氏作詞
元祿十五年
十二月十四日

此の日は大江戸雪降りて、八百八町は白妙の、花に埋れて都鳥、影何処にや隅田川。ここ本所松坂町、吉良の屋敷は恒例の、茶の湯の集い終り告げ、招きし客も立去れば、あとは静に夜のときり。主君義央(よしあき)寝所へ、入りしを見届け平八郎、宿直(とこの)の部屋へ退きて、凍(こ)のつかりの寒さをば、火桶(ひらき)を引き寄せ暖(あた)むる。折から清水一学も、見廻り済ませて入り来り、なまか今宵は時ならぬ、胸騒ぎして不思議にも、心懸りとつばやきぬ。平八郎は言えるよう、松の廊下の双傷は、去年(こぞ)三月の十四日、月異れど今日も亦、冷光院殿との御忌日。雪を幸いと、乱入狼籍(らんりやく)せず、我等油断(あやま)り難く、警固(けいこ)に万全を期すのみと。一学うなづきおもむるに、暫し瞑目(めいもく)してあれば、領地に於ける義央の、名君振りの有様が、(まぶた)の陰に浮び出づ。黄金(こがね)の堤や富好新田(とみよししんでん)、又は年賦(ねんふ)賦賦と、数ある仁徳(にとく)あまねき、恵(めぐみ)は深き御政道(ごせいどう)、民(たみ)をいて国(くに)は富む。質素(しつそ)を旨と赤馬(あかま)に、乗つ

山元宗家の吟詠
錦城会全国大会
四月十五日小倉

詩吟詠界の権威、東京錦城流宗家山元錦城女師の錦城会四十八年度全国大会が四月十五日午前十時より九州小倉市民会館に於て開催される。この催しに福岡県教育委員会、毎日新聞、毎日放送、財界春秋社が後援と決った。この大会の新作発表として特別番組「大物の新作」を「雲流るる果てに」として上演される。大物の浦は琵琶で馴染みの舟弁慶の場で、山元宗家企画構成作曲を総伝師範と師範、準師範級十六名に伴奏入りでの出演。また「雲流るる果てに」は、戦没学生の手記を資料としたもので、総伝師範女流の精鋭六人によって上演されると。琵琶舞物語「平家兵船巻」の三つが上演される。大物の浦は琵琶で馴染みの舟弁慶の場で、山元宗家企画構成作曲を総伝師範と師範、準師範級十六名に伴奏入りでの出演。また「雲流るる果てに」は、戦没学生の手記を資料としたもので、総伝師範女流の精鋭六人によって上演されると。琵琶舞物語「平家兵船巻」の三つが上演される。大物の浦は琵琶で馴染みの舟弁慶の場で、山元宗家企画構成作曲を総伝師範と師範、準師範級十六名に伴奏入りでの出演。また「雲流るる果てに」は、戦没学生の手記を資料としたもので、総伝師範女流の精鋭六人によって上演されると。

吟詠コンクール
錦城会全国大会
優勝者の栄誉決る

全国に二百の支部と教授所を設け、一万余の会員を有して吟詠界の女王と権勢を誇られる実力者である錦城流吟詠宗家山元錦城師の錦城会本部主催の第三回錦城流吟詠コンクールが、既報の如く二月二十五日十時より東京都勤労福祉会館ホールに於て開催された。二階最前列は審査員席で審査委員長山元宗家、審査員総師範夏秋錦、山本城嶽、丸山城壮、師範大山錦、大塚城聖、本村錦香、金子城昭、城戸城満、他四名の審査委員が着席されて行われ、会場は会員と関係者や愛好者で満員の盛況であった。優勝並に入賞者は◎初位の部。◎優勝 八幡快二(東京)◎二位 迫田和子◎三位 箕田百種(中依の部)◎優勝 山本美奈子(四国松山)◎二位 田中秀秋◎三位 宮崎民子(奥伝の部)◎優勝 村上修(東京)◎二位 樋坂要子◎三位 馬場和子(雅名の部)◎優勝 磯野城司(東京)◎二位 樋坂錦馨◎三位 和田錦芳(皆伝の部)◎優勝 港錦玲(東京)◎二位 松岡錦章◎三位 港城賢。◎入賞者は五位まであり審査終了後に以上の成績が発表され各入賞者に賞状並に賞品が授与された。

決選大会を開催
吟詠詩舞振興会
主催の第一回を

財団法人日本吟詠詩舞振興会は、発会以来、文化日本芸能の向上を達しに大きな功績を挙げ、名声冠たるもので社会教化に主役となつてゐる。同会は一昨年までは年一回の全国大会開催が主な行事であったが、今年からは一層少壮吟詠家の技術向上を図り、日本精神頭揚の為め青少年非行防止を目標に、この主眼より新たに全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会を企画され、その第一回大会を三月二十一日午前十時より東京千代田区三田三の久保講堂に於て開催された。会況並に優勝栄誉者は次号で発表

日琵琶振興会革新会

薩調絃の大家で、琵琶研究の造詣家として知られ、琵琶推進の旗手的役割の実力者となつた日本琵琶振興会々長鈴木流泉師は、毎月の例会を本年一月から東京新宿の洲鳳会館(新築)に移したと同時に、従来の親睦、集合主旨を更に研究推進重点に革新の一步を進め、二月例会(二十五日)より実行された。二月会はその手始めとして小演奏会的方式で開き大森錦長(鈴木木、杉山雅俊)修善寺物語(鈴木鶴、八重一峰)新納岳彦(藤原義士)、花京一峰(小教盛)、吟詠に芦沢師範の諸氏が出演され賑つた。

一水会横須賀支部
十周年記念大会
四月二十二日
田浦公民館



(山田水師)

円満重厚の人格名士と人気高い山田幻水師が支部長の錦心流一水会横須賀支部は、発会以来十周年を迎えて十周年記念琵琶演奏大会を四月二十二日正午より田浦公民館に於て開催される。この催しには市教育委員会と市文化協会が後援され、一水会本部と神奈川県下の横浜、川崎、逗葉、藤沢、小田原、平塚の六支部が協賛し、四絃富士会と選手絃和会が応援する事になって、従つて出演者も山田支部長、曾我竜城相談役を始め支部会員一同、本部より小山田賞水会長、中谷襄水理事、横溝璋水理事の三幹部、神奈川県下六支部長や四絃富士会、絃和会より精鋭組の出演が期待され、当日盛況が予想される。本稿締切り(三月十日)までに決定せる出演者と曲は城山 石井志水 ▲電の口 末吉 希水 ▲歌謡大和 瀬谷香水 ▲舟の内侍 鈴木江水 ▲白虎隊 斎藤陸水 ▲別れの盃 山本妹芳 ▲常陸丸 柴田叙水 ▲本能寺 小保内真水 ▲成辰の華 土橋水

加藤錦陽師の
春の琵琶会決る

東京三鷹市の邦楽協会の首魁で錦心流琵琶の名手である加藤錦陽師は、十数年来毎年演奏会を主催して市民慰安と民族思想の精神向上に尽くつたが、今年も例に依り五月青葉の好季に各流の著名大家の出演を願つて琵琶演奏会を開催されると。その顔振れば、浅野晴風師を筆頭とする山下晴風、若林晴彦、大関英子、青木晴城諸氏とその一門、浪曲派の若水桜松、大館派の前田洲月名人と花形宮崎洲香さん、錦びわの新部桜水、藤波桜華、村木桜柳の三名花、筑前派の花王広瀬翠紅さん等が予定され、詩吟には浜松の名星中村松声さん、他に剣舞組もあり華やかな舞台が期待されると。

江島神社琵琶講
奉納奏は中止

江の島に祭祀の芸能の守護神である江島神社の奉納琵琶講が毎年五月に奉納を行つて来た行事は、同神社々務所改築のため五月は使用不可能となつて本年の奉納会は中止する事になったと講元の石田琵琶店より発表された。

橘会全国大会で
表彰の功労四師

筑前琵琶日本橋会では、故一世宗家の七回忌追善を兼ねた全国大会演奏会を開催し、師恩感謝の意表と共に橘会改組と振興に大きく貢献された功労者を表彰する事が流祖への慰霊であり社会人道風教に及ぼす点大なりと見る。受賞の四功労者は左の方である。

大阪 山崎旭萃師

現代筑前界の第一人者で、大和流琵琶の宗家であり名聲海外にまで轟く名人、外柔内剛の関西人の特有の気風もある、優しい社交振りは流石に人徳の表裏である。



(山崎旭萃師)

東京 山元旭錦師

日本志願場の芸能文化の主柱琵琶両道の為めに国内から海外にまで活躍し、一万余の会員を有し



(山元旭錦師)

名古屋 松本旭柳師

芸能人の関所と昔から定評の名古屋市で、琵琶の真髓を發揮して妙音の芸豪家と認識させた達人松本旭柳師は、至誠一貫男



(松本旭柳師)

岡崎 堀田旭甲師

本師は非凡の大家である。琵琶一筋の芸能人で意志堅固。芸能家は人気渡世であるの認識が稍薄の点が徳望を惜しまれる。



(堀田旭甲師)

水藤五郎氏活躍

錦琵琶宗家水藤錦嶺名人の令息五郎氏は、二代目後継者と目され

五、六十名様までの
舞台つき和室
貸ホール
小唄、民謡、琵琶
詩吟、和風芸能
講習、小集合等
(短時間でも御利用を)
昼 11時開演、1,000円
夜 11時開演、1,300円
全日 11時開演より夜九時迄
平日 11時、1,000円
土、日、祭日 1,500円
冷房完備、マイク、レコーダー、テープレコーダー、湯茶、宴会の設備
新宿区新宿一ノ四ノ九
洲鳳会館
電話 七三六六番
地下鉄は新宿御苑前駅(下車三分)

作詞家松原竜山師
一水会支部を退会
関西の琵琶界に節義を重んずる一貫の名士と人格を認められる。新道五十年余の長老で、数年前より吟詠中心流を創案しその宗家となる。温情の節義者で人望高い。
錦琵琶宗家水藤錦嶺名人の令息五郎氏は、二代目後継者と目され

平無私一貫した誠実は高く評価される。新道五十年余の長老で、数年前より吟詠中心流を創案しその宗家となる。温情の節義者で人望高い。
錦琵琶宗家水藤錦嶺名人の令息五郎氏は、二代目後継者と目され

水藤翁の誕生日

昨年七十七の壽考の宝齡を迎え多くの知己や関係者から祝福された東京琵琶の元老水藤枝水翁は、積善と生誕日を同じうする四月八日が誕生日である。水藤師は故名人永田錦心宗家の懐刀としてその



(水藤枝水師)

の智恵切れ味を知られ、義理人情に厚く、芸能の精通者であり琵琶の權威者。現代世界の名人と定評の世界的大音楽家鶴田錦史、水藤錦嶺、河内屋や筑前派の名人山崎旭彦師も水藤翁の支援力に待つ所が多かったという。流派の別なく、琵琶の技能家を支援され、斯道の振興に尽す師の誠意は今も変らぬ。

雨宮国風師の

国風流全国大会

四月二十二日横浜で



(雨宮国風師)

錦心流琵琶の名人で吟詠国風流の宗家である横浜市の雨宮国風師

は、一月に開いた芸道六十周年記念リサイタルにて大成果を収め、二月中旬渡米し、日米加親善大会で感風を發揮三月帰国され、四月二十二日に横浜市の青少年センターに於て日米加吟詠連盟全国大会を開催されると。

四の絃

今年も早や陽春の季節となつて彼岸桜の開花が見られる。寒苦に耐えて清澄の花を咲かせ芳香を放った梅花は青く小さな実をつけ五月頃には梅干や梅酒となつて万人に愛される。桜の花の開花は誠に見たところは美しいが多くの人に愛好される実の結ばれるのは少ない。芸能界もファンは多いが実を結ぶ大家とか名人と讃えられる人は多くない。梅の花の如く寒苦に耐ゆる即ち厳しい修業に辛捧し得ない人が多からであらう。昨年三月に古都鎌倉の作歌者曾我電城師が作詞発表会を皮切りに四月には彼ノ矢師の教師披露会、仙合の菅野有木大会、紅会、笹川鏡江師リサイタルと華々しい催しがあった。五月には都錦穂さんの開かれ春を飾った。今年三月月初の橋会全国大会が東京で満開の春一番で、京都の三美会、東京の研精会、藤巻旭鴻会、四月の紅会が愛好者を集ませる大会である。人には好きと嫌いがあから一様には言えぬが、琵琶人であるなら流派を問わず妙音は好きであろう。それなのに他流の芸を聞く

とせぬ人々が多いのは意外である。人のフリ見て吾がフリ直せと古い諺がある如く他の芸の長所を見聞して自己の不足を矯正する心を得持つては如何。見聞を成めることは自らの修養であり芸の上達への近道である。小集会を開いて弾交されても良き指導者の偽らぬ忠告に耳を貸す難い。若くは芸の上達には覚悟が必要。芸は人なりと言ふが修養と鍛錬を積んで始めて他人より認められる。更に汎く社会を遊ぎ多くの体験を経て知識を付けてこそ一人前の社会人となる。人格者とか徳望家と敬われる人は更に博愛善行世のため庶人の為めに尽して居られる積善者である。東京の山元旭師が橋会の全国大会に参拾万円を寄贈して全員を激励。斯道の精神である礼節信義の人道を推進して非行防止し明るく楽しい社会の建設の一助にとの芳志と見た。琵琶人中で大金持ちは例外として一弾奏家である大谷の寄贈は裏面に於て耳にしない。山元師の芸道に対する深慮と清い決心に敬意を表したい。吟詠詩舞振興の笹川良一会長は全国同好の大同団結を願つて巨額の何億円かを寄附された美事がある。同会は現在基金参拾万、会員二百三十余人で日本一の芸能大団体である。琵琶人は自己主義者が多くて自派の芸のみに執着し自己の栄位と保持に汲々として居る者が多い。個人の力には限度があるの同志相寄り相扶け大同団結してこそ大きな力となり雄飛の捷道を握れるのだ。個々の感情を捨て熟考を望む。

多摩墓地参拜と橋会定期総代会

筑前琵琶日本橋会流祖一世宗家橋会宗師の靈域である多摩墓地参拜は、三月三日午後一時品川高輪の専売会館を貸切大型バスで全国より集った橋会員が出發、三時十分に着いた橋会宗家、山元旭師師他の会員等と共に墓碑前を偲ぶの奉経裡に焼香参拝し直ちに会館の宿舎へ帰り、六時より定期総代会(総代資格は師範級以上)を開催した。宗家、事務局長、山元、山崎西宗範、山本、板谷両相談役、松本師範以下各師範(一般会員はオブザーバー)来賓芸の友社長で総員七十名である。堀田事務局長が議長に推され、四十七年度経過報告、全国橋会京都大会の決算報告、四十七年度会計報告の三件は何れも承認された。橋会未設地に橋会設立の件、これは会員同志で協力する事となり。会規の一部改定の件、四十九年度全国大会開催地として九州地区の件は未決定。四十八年度より全国大会の外に選抜名流演奏会を年一回開催の件が提案されたが審議未了の儘最高幹部会へ一任となった。議長より山元旭師全国大会の司会東京橋会より金参拾万を寄贈ありの報告あり一同感激す終つて懇親会に移り、鈴木芸の友社長の発声で万歳を三唱し、八時過ぎ終了した。

柴田旭栄師逝去

関西に於ける筑前琵琶の大元老

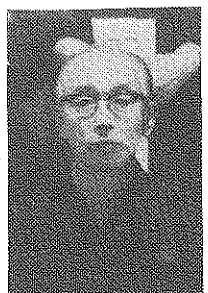


(柴田旭栄師)

神、岐阜各地琵琶界名士、旭会員や門下生等多数が会葬し故人の遺徳を偲び感戴であった。法名は久修院妙業日得善女人。茲に謹んで敬悼。故旭栄師は筑前本場九州博多の出生で、吉田流始祖吉田竹子女史の親戚に當り、築田家に嫁して夫吉田道師と共に、築田家の普及発展に力を尽し、大正三年二月十一日神戸旭会を創立された委員五人の内の一で、夫妻揃つての委員は例がなかった。その後夫の旭道師がなくなった。旭道師亡き後は例がなくなり多数の会員を指導され、現在旭会の重鎮で名匠と譽れ高い旭会女史は旭道師夫妻の寵愛を一身に受けて育成され、琵琶一家と敬称されたのもこれに依る。夫妻揃つた此の道の大家で名声を博し特に故旭道師は二代宗家中には旭会の大黒柱と謳われた人格者であり、旭栄師は日本旭会参事であり、御冥福を祈る。

京北協春の会

四月一日夕、池袋区民センター



(千葉玉山師)

東京琵琶界に異色の名手と定評ある千葉玉山師(京北琵琶協春会理事長)と、琵琶界切つての社交家戸谷隼水師(戸谷染料会社社長、京北協会総務)とが主軸の京北琵琶協春の春秋二季の演奏会は、新宿区と並ぶ東京副都心の繁華街池袋地区の名物となり多くのファンを支持がある。今春の公演は桜花に魁けて四月一日夕五時半より池袋東

会理事長の実力者である千葉玉山師の高弟、重田玉袖氏の皆伝教師の披露琵琶会が三月十日夕五時半から練馬区の名利長命寺の幼稚園校舎で開かれた。この日は遠き明治時代の日露戦争で大山陸軍元帥が總司令官として満洲奉天城へ入城された日に當り、世界大戦前までは陸軍記念日である。三月とては早春の寒さは身に沁み夜であつても早春の寒さは身に沁み夜であつた。会主催玉袖氏は会場近くで布団商を営む誠実な青年で信用され、この道十数年の琵琶人である。長命寺は弘法大師開宗の真言宗で豊山派に属し、現住職は大僧正林亮海師で区会議員に選出された名僧である。

い少女二人の舞い(ひなまつり)で求聴客の目を惹きつけて笑顔をほころばす。橋本草水(竜の口)、輝錦司(伊豆の御雛)の巧演で琵琶の高雅深遠さをファンに認識させて拍手を呼ぶ。重田明子少女の舞と、花柳流舞踊家、徳沙登、徳次海両師の冴えた華やかな舞いで聴衆を喜ばせ、最後は重田会主催の應答千葉玉山師が得意の曲「安達ヶ原」で、故名人山口錦堂師風の妙節を發揮して満堂の大拍手を浴び九時近く終了した。会主催玉袖氏はこの披露会で多くのファンより祝福され、愈々民族思想高揚の闘志として第一線へ立られた。

大阪広瀬織水師の吟詠琵琶春の会

関西四絃界の名匠で吟詠の權威である大阪の広瀬織水師は、門下の阿部健水、田中鍾水兩名の水号披露を兼ね琵琶と吟詠の春の公演を三月四日午後一時より北区天神筋の朝陽会館に於て開催された。この会の出演者は、織水会一門の



(広瀬織水師)

森中、杭東、阿部、田中四氏の外、三浦運水、小川吟水両師とその門下、祝詞に桃木耳水、松岡旭岡両元老、特別出演として一水会名古屋支部長菅沼響水、筑前旭会伊藤

京都琵琶三美会 女流の演奏大会

京都琵琶の名星矢吹旭美津さんの三美会では、女流演奏大会を三月十一日十一時半より四条の山一証券ビル六階ホールにて催し、会主矢吹師、京大阪高千穂旭楓、大阪中山鳳水、京都梅原旭楓、大津伊藤旭楓、西宮三浦運水、彦根林田旭城、姫路西川旭路、大坂藤原英水、神戸柴田旭堂、求實に広島菊地旭蘭、東京仲川秀邦、同原島旭狂、同水藤錦嶺の各地名流入りの各単奏の外、山崎旭彦師外菊地、林田、矢吹、三木、安住の五絃弾合奏、三木旭照、矢吹さんの絃で旭照一門六名の松野紫雲作詞、山崎旭彦作曲の「弁財天」の合奏と新人組十名程が前奏として出演された。司会は平井春嶺氏であつた。

橘会の大会を聴く

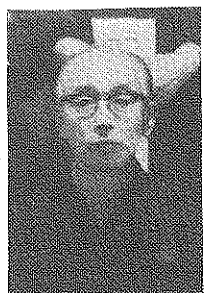
私は琵琶が好きですが演奏者ではありません。しかし琵琶を聴く為には遠く九州方面へまで出掛ける事もあります。元来錦心流のファンでしたが、先年筑前琵琶の名手の演奏を聴いてから筑前派の琵琶に興味を持ち、優れた大家の芸を聞きたいと思つて居りました。

鉦水会の研修会

湘南地区唯一の人氣演奏家である一水会副支部長である錦心流の大家、廻子の平野鉦水師は琵琶の専門教授として十數名の会員を指導養成のため今年から研修会を開催し毎月例会を催す事とし、第一回は二月十一日の建国記念日の午後二時市松山会館にて平野会館、三門葉水、石渡秀水、坂井田鉦政、川崎鉦楚、内藤實治、田中あじ、高橋旺水、曾我電城の諸氏出席で開かれた。同会は爾後毎月第二日曜日に催されると。

京北協春の会

四月一日夕、池袋区民センター



(千葉玉山師)

東京琵琶界に異色の名手と定評ある千葉玉山師(京北琵琶協春会理事長)と、琵琶界切つての社交家戸谷隼水師(戸谷染料会社社長、京北協会総務)とが主軸の京北琵琶協春の春秋二季の演奏会は、新宿区と並ぶ東京副都心の繁華街池袋地区の名物となり多くのファンを支持がある。今春の公演は桜花に魁けて四月一日夕五時半より池袋東

会理事長の実力者である千葉玉山師の高弟、重田玉袖氏の皆伝教師の披露琵琶会が三月十日夕五時半から練馬区の名利長命寺の幼稚園校舎で開かれた。この日は遠き明治時代の日露戦争で大山陸軍元帥が總司令官として満洲奉天城へ入城された日に當り、世界大戦前までは陸軍記念日である。三月とては早春の寒さは身に沁み夜であつても早春の寒さは身に沁み夜であつた。会主催玉袖氏は会場近くで布団商を営む誠実な青年で信用され、この道十数年の琵琶人である。長命寺は弘法大師開宗の真言宗で豊山派に属し、現住職は大僧正林亮海師で区会議員に選出された名僧である。

い少女二人の舞い(ひなまつり)で求聴客の目を惹きつけて笑顔をほころばす。橋本草水(竜の口)、輝錦司(伊豆の御雛)の巧演で琵琶の高雅深遠さをファンに認識させて拍手を呼ぶ。重田明子少女の舞と、花柳流舞踊家、徳沙登、徳次海両師の冴えた華やかな舞いで聴衆を喜ばせ、最後は重田会主催の應答千葉玉山師が得意の曲「安達ヶ原」で、故名人山口錦堂師風の妙節を發揮して満堂の大拍手を浴び九時近く終了した。会主催玉袖氏はこの披露会で多くのファンより祝福され、愈々民族思想高揚の闘志として第一線へ立られた。

大阪広瀬織水師の吟詠琵琶春の会

関西四絃界の名匠で吟詠の權威である大阪の広瀬織水師は、門下の阿部健水、田中鍾水兩名の水号披露を兼ね琵琶と吟詠の春の公演を三月四日午後一時より北区天神筋の朝陽会館に於て開催された。この会の出演者は、織水会一門の



(広瀬織水師)

森中、杭東、阿部、田中四氏の外、三浦運水、小川吟水両師とその門下、祝詞に桃木耳水、松岡旭岡両元老、特別出演として一水会名古屋支部長菅沼響水、筑前旭会伊藤

京都琵琶三美会 女流の演奏大会

京都琵琶の名星矢吹旭美津さんの三美会では、女流演奏大会を三月十一日十一時半より四条の山一証券ビル六階ホールにて催し、会主矢吹師、京大阪高千穂旭楓、大阪中山鳳水、京都梅原旭楓、大津伊藤旭楓、西宮三浦運水、彦根林田旭城、姫路西川旭路、大坂藤原英水、神戸柴田旭堂、求實に広島菊地旭蘭、東京仲川秀邦、同原島旭狂、同水藤錦嶺の各地名流入りの各単奏の外、山崎旭彦師外菊地、林田、矢吹、三木、安住の五絃弾合奏、三木旭照、矢吹さんの絃で旭照一門六名の松野紫雲作詞、山崎旭彦作曲の「弁財天」の合奏と新人組十名程が前奏として出演された。司会は平井春嶺氏であつた。

橘会の大会を聴く

私は琵琶が好きですが演奏者ではありません。しかし琵琶を聴く為には遠く九州方面へまで出掛ける事もあります。元来錦心流のファンでしたが、先年筑前琵琶の名手の演奏を聴いてから筑前派の琵琶に興味を持ち、優れた大家の芸を聞きたいと思つて居りました。

鉦水会の研修会

湘南地区唯一の人氣演奏家である一水会副支部長である錦心流の大家、廻子の平野鉦水師は琵琶の専門教授として十數名の会員を指導養成のため今年から研修会を開催し毎月例会を催す事とし、第一回は二月十一日の建国記念日の午後二時市松山会館にて平野会館、三門葉水、石渡秀水、坂井田鉦政、川崎鉦楚、内藤實治、田中あじ、高橋旺水、曾我電城の諸氏出席で開かれた。同会は爾後毎月第二日曜日に催されると。

琵琶詩吟名匠録

錦琵琶本部
 176 東京都練馬区旭町三ノ三
 電話(93)四四九八番

宗家水藤 錦樓
 大和流琵琶 山崎 旭萃
 宗家 光城 山崎 旭萃
 大阪府高槻市津之江町アエ
 電話(77)六五八〇番

筑前琵琶橋会師範
 詩吟 宗家 山崎 旭萃
 電話(77)六五八〇番

筑前琵琶橋会師範
 詩吟 宗家 山崎 旭萃
 電話(77)六五八〇番

112 東京都文京区千石三ノ三
 電話(42)七三三二番

旭風笹川 鎮江
 詩吟 宗家 山崎 旭萃
 電話(77)六五八〇番

160 東京都新宿区三栄町一六
 電話(33)四五九一六番

押田 旭 窈
 筑前琵琶橋会師範
 電話(33)四五九一六番

551 神戸市灘区上筒井通四ノ二
 電話(57)六一一六番

筑前琵琶橋会師範
 電話(57)六一一六番

171 東京都豊島区高松三ノ三
 電話(33)三六四五番

大教司 藤 卷 旭 陽
 電話(33)三六四五番

349-01 埼玉県蓮田町御前橋
 電話(27)一六六〇七番

筑前琵琶橋会師範
 旭柳 旭 柳
 461 名古屋市東区東外堀町二ノ二
 電話(26)五二六〇番

筑前琵琶橋会師範
 松本 旭 柳
 461 名古屋市東区東外堀町二ノ二
 電話(26)五二六〇番

筑前琵琶橋会師範
 稲垣 旭 玲
 小樽市花園五丁目七ノ九
 電話(137)三五九〇番

筑前琵琶橋会師範
 板谷 旭 邑
 広島市橋本町一〇番一五号
 電話(21)二二九一五番

154 東京都世田谷区野沢四ノ七
 電話(42)〇七四四番

旭中 旭 嶺
 電話(42)〇七四四番

150 東京都渋谷区宮谷一ノ五二
 電話(40)二二三八番

大教司 須田 旭 綱
 電話(40)二二三八番

静風流詩吟、琵琶
 鳳麗 峯 旭 孝
 177 東京都練馬区大泉一四
 電話(93)三〇四〇番

筑前琵琶橋会師範
 大津 旭 紅
 167 東京都杉並区南荻窪一ノ三
 電話(33)一一〇五番

筑前琵琶橋会師範
 旭 紅
 167 東京都杉並区南荻窪一ノ三
 電話(33)一一〇五番

160 東京都新宿区西新宿六ノ七
 電話(33)五五六四番

師範 原 島 旭 粧
 電話(33)五五六四番

筑前琵琶橋会師範
 野 旭 保
 北九州市小倉区馬場一ノ四
 電話(52)八三三四〇番

802 師範 河 野 旭 保
 電話(52)八三三四〇番

筑前琵琶橋会師範
 中 村 旭 園
 福岡市中央区今川三ノ七
 電話(7)〇七〇七番

筑前琵琶橋会師範
 堀田 旭 甲
 444 岡崎市福寿町七ノ七
 電話(52)四四七五番

筑前琵琶橋会師範
 林田 旭 城
 彦根市中央町六ノ三
 電話(24)二二六六番

筑前琵琶橋会師範
 石河 旭 豊樓
 詩吟 宗家 山崎 旭萃
 電話(77)六五八〇番

筑前琵琶橋会師範
 石河 旭 豊樓
 電話(77)六五八〇番

168 東京都杉並区下高井戸
 電話(33)三三三三番

宗家 竹下 翠 風
 電話(33)三三三三番

187 東京都小平市仲町一ノ九
 電話(41)二四三六番

筑前琵琶橋会師範
 田中 旭 昇
 電話(41)二四三六番

553 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ三
 電話(57)〇〇一八番

師範 田中 旭 昇
 電話(57)〇〇一八番

414 伊東市湯川一ノ二四
 電話(37)五二九二番

宗家 入谷 錦 鳳
 電話(37)五二九二番

343 越谷市大成町一ノ二二
 電話(46)八二九一三番

師範 望月 啞 江
 電話(46)八二九一三番

272 市川市東菅野四ノ八
 電話(34)八二九一三番

師範 望月 啞 江
 電話(34)八二九一三番

125 教授所 菊水 流 本 部
 東京都葛飾区青戸六ノ六
 電話(40)二二二二番

錦心流琵琶
 藤川 晴 水
 330 大宮市桜木町四ノ三
 電話(52)九〇五八番

錦心流琵琶
 輝水会山梨縣支部
 支部長 志田 錦 禪
 400 甲府市相生町二丁目四ノ七
 電話(35)三三三三番

副支部長 長谷川 錦 侯
 400 山梨市小原西一ノ六
 電話(22)〇一〇一六番

幹事 近藤 錦 秋
 400 甲府市朝日三丁目一ノ七
 電話(22)八五五七番

113 東京都文京区本郷三ノ三
 電話(42)七五七四番

錦心流琵琶
 輝水会本部
 支部長 福手 錦 稜
 113 文京区根津二丁目一五
 電話(42)五七〇八番

副支部長 西山 錦 耕
 176 東京都練馬区旭町二ノ二
 電話(93)一一〇五番

師範 西山 錦 耕
 電話(93)一一〇五番

116 東京都荒川区荒川三ノ三
 電話(33)三〇七〇番

師範 小 沢 錦 弥
 電話(33)三〇七〇番

171 東京都豊島区長崎五ノ二
 電話(33)八七一七番

薩調四絃玉山会
 電話(33)八七一七番

筑前琵琶橋会師範
 北村 旭 良
 680 鳥取市片原四ノ二七
 電話(82)二二二二番

筑前琵琶橋会師範
 久徳 旭 蘭
 久徳市真谷八幡通五ノ六
 電話(22)二二二二番

筑前琵琶橋会師範
 佐伯 旭 瑛
 旭瑛会
 電話(72)二二二二番

詩吟、詩舞
 花房会 花方 旭 嶺
 141 東京都品川区平塚三ノ八
 電話(40)〇一〇八番

大和流琵琶吟奏
 師範 安藤 光 鵬
 158 東京都世田谷区東玉川三ノ三
 電話(42)八二二二番

筑前琵琶橋会師範
 木下 旭 竜
 272-01 千葉県浦安町猫三ノ四
 電話(57)三三三三番

師範 佐野 旭 晴
 電話(57)三三三三番

筑前琵琶橋会師範
 小野 旭 枝
 802 北九州市小倉区米町四丁目
 電話(52)二二二二番

師範 大和流琵琶吟教授
 師範 三木 光 照
 大和流琵琶吟教授
 電話(52)二二二二番

吟詠教授、吟松会
 430 浜松市浜谷町三七一
 電話(53)七六六〇番

薩摩琵琶同好会
総会で役員改選

鹿児島市の薩摩琵琶同好会では、一月総会を開き、任期満了による役員改選、昭和47年度庶務報告、昭和48年度行事予定、47年度会計報告を行い、更に役員会並に常任幹事会、各員名簿変更等があった。選出された新役員は次の通り。

名譽会長 新保利国△会長 小畑精造△副会長 坂口國秋、田上精市△評議員 山元海門、山崎清伊地知忍氏他六名△幹事 加納武夫、川野虎男、高江行道、平田宗良氏他十名△監査委員 木原包義、堀金義△顧問 田辺尚雄、西郷吉之助、追水久澄、田中茂穂、川上為治、床次徳二、金子知事、県教育委員、県会議長、鹿児島市長、市議會議長、市教育委員長、放送局長、南日本放送社長、新聞社長、商工会議所会頭、鹿銀頭取、中小企業団体会長、阪岡武二、加納吉次、萩原秋彦、安田幸吉、久木田徳の諸氏が選任決定した。

正絃会新年演奏

薩摩琵琶正絃会の四十八年度新年演奏会は、一月二十一日午後一時より愛宕山の菜根で開演、開会の挨拶のあと今村潮舟氏の「春日野」を先香に、堀越素舟(春の調)、八束一峰(薄陽江)、佐々木精(武蔵野)、須田誠(吉野落)、小村峰舟(月下の陣)、新納岳密(蓬萊山)、柏木眞道(隅田川の道通)、遠藤鶴東(白壽讚)、齋藤瑛舟(城山)、栗原雨竹(旅順)

薩摩琵琶正絃会の三月例会は十八日午後一時より愛宕山菜根にて催され、辻彌剛翁の開会挨拶に続いて青川、堀越、城、須田、古家、尾関、小村、清川、遠藤、池野、仲川、吉成、八束、岡部錦蝶、前田秋声、大塚、栗原、鈴木諸会員の各単奏力演と最後に有志会員の古曲一題が上演され賑わった。

四月例会は十五日同所で開催。

博多旭会新曲発表会

筑前琵琶の名匠で博多旭会の主軸である須田謙師範を筆頭の同会では三月十四日午後二時同所にて第二回春の新曲発表演奏会を開催した。上演曲は御祝儀博多三番叟、うさぎと亀、蓬萊山、大高源吾、五條橋、菅公、秋風故郷の山、吉野山懐古、茶紋録、関ヶ原、嶺の浦、お嬢夫人、元祿花見踊と吟詠十数題で、出演者は須田謙師以下、博多旭会員並に吟詠界各名手、最後の「元祿花見踊」は、琵琶の大方三人を加えて華やかな舞台である。尚筑前琵琶保存会の第九回演奏会は今秋十一月四日福岡市の少年文化会館に於て催す。

武絃会の研修会

東京武絃会と一水会多摩支部の合同研修会は、二月十八日午後小金井市福祉会館で催され、伊藤雲水支部長始め清水源城、杉山旗水、松田殊水、村木敏樹、坂本錦道、久下、富田、中村、石井、篠原の諸氏出席各一曲短演奏して楽しんで、三月も十八日同所で開催と。

木原綾子さん芸歴

二月十日NHKラジオ放送で好評を受けた現水藤錦樓師門下の木原綾子さんは、幼少の四歳の時に永田錦心師門下の大山呉水師の門に入り昭和十二年に「青水」の号を受け、十三年山形放送局より初放送された。十四年浜田昂養師の門に移り、夫が富士銀行鹿児島支店長に転任と共に南日本放送より放送せる芸歴もある由。

精密部品加工業 (腕時計部品) 事務機部品

ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売

平井精密工業 有限会社

本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429(22)3175
 工場 所沢市荒幡218 電話 0429(22)3660

社長 平井 円吉(洲誠)

戸谷染料商店

染料・染色助剤・化学工業薬品
 合成接着剤・界面活性剤・製造卸商

登録商標 株式会社 戸谷染料商店
 社長 戸谷 曙水

本社 東京都台東区下谷2丁目8の9
 電話 (873) 3111, 3112, 3113, 3114, 3115
 工場 埼玉県草加市吉野1丁目5の21番地
 電話 草加0489 ②4955番

石田琵琶店

創業明治十一年

最古の傳統と最高の技術

薩摩琵琶 専門製作

附属品一式

薩調 愛吟集 各定価 400円
 四絃 送 料 55円

東京都港区芝田町八番地二番
 N.H.K.放送センター1西口前
 電話 芝田六八二二番

三田村楽器店
 電話 芝田六八二二番

荒井屋

お酒と新鮮魚

大衆的実質酒場

友吉健ちゃん
 東京浅草雷門横
 電話(844)四二五一番